

国際観光文化都市・大阪をめざして

2024年9月
公益財団法人 大阪観光局理事長（大阪観光局長）

溝 畑 宏

大阪観光局がめざす都市像と8つのキーワード

世界が憧れる「住んでよし」「働いてよし」「学んでよし」「訪れてよし」の

世界最高水準、アジアNo.1の国際観光文化都市

「国際観光文化都市」のイメージを表す「8つのキーワード」

① 体験・感動

- 多様な食事、エンタメ、歴史、文化・芸術、レジャー等が楽しめるアミューズメント都市
- 様々なプロスポーツ観戦が楽しめる都市
- 世界中の芸術家等が集まる文化・芸術都市
- 面白いイベントを行う人が集うイベント都市
- 世界中の富裕層を楽しませる特別な体験を提供する都市

② 元気・活力

- 緑や花がそばにある、癒しのある都市
- スポーツが盛んで、健康と生きがいを楽しめる健康増進都市
- 世界中から優秀な人材が集まり、事業を起こし、雇用と富が生まれるビジネス都市

③ 夢・希望

- 世界水準のMICE施設を持ち、多数のMICEが開催され、人・モノ・情報が集まり、イノベーションと新しいビジネスが生まれる都市
- 持続的かつ健全な経済発展があり、多くの人が余暇を楽しめる都市
- 再チャレンジを受け入れる都市

④ 多様性・共生・平等

- 様々な価値観を受容し、共存共栄する都市
- 旅行者、留学生など来訪者を歓迎し、彼らが快適に滞在できる都市
- 弱者を助け、共に支えあう都市
- 日本中の各地方都市に送客し、地方都市とともに栄える都市

⑤ 復活・対応力

- 困難から迅速に復活し、変化に柔軟に対応する人々が集まる都市

⑥ 安全・安心・清潔・防災

- 身の危険や感染症のリスクが低く、快適に過ごせる都市

⑦ 分散

- 特定の時期や場所に集中しない、多様な休暇の取り方とコンテンツが享受できる都市

⑧ 環境・みどり

- ゼロカーボン社会を実現する都市
- 地球温暖化の抑制をめざす都市
- 生態系多様性の維持をめざす都市

(参考) シンクタンク等による大阪のポジション分析

世界で最も住みやすい都市ランキング 2024 ※英誌「エコノミスト」	世界の都市総合ランキング 2023 ※森記念財団 都市戦略研究所	世界の人気都市トップ25 2023 ※米誌「トラベル・アンド・レジャー」																																																																										
・安定性、医療、インフラにおいて高評価、 アジアでは最高位の9位 (対象は世界173都市)	・大阪は総合では37位だが、 居住分野は12位、 研究・開発分野は18位 と評価も高くなっている (対象は世界48都市)	・大阪は英語を話さずとも親しみやすい地域の 人々、公共交通機関の利便性などが高評価																																																																										
<table border="1" data-bbox="79 518 612 1268"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>都市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1位</td><td>ウィーン</td></tr> <tr><td>2位</td><td>コペンハーゲン</td></tr> <tr><td>3位</td><td>チューリッヒ</td></tr> <tr><td>4位</td><td>メルボルン</td></tr> <tr><td>5位</td><td>カルガリー</td></tr> <tr><td>5位</td><td>ジュネーブ</td></tr> <tr><td>7位</td><td>バンクーバー</td></tr> <tr><td>7位</td><td>シドニー</td></tr> <tr><td>9位</td><td>大阪</td></tr> <tr><td>9位</td><td>オークランド</td></tr> </tbody> </table>	順位	都市	1位	ウィーン	2位	コペンハーゲン	3位	チューリッヒ	4位	メルボルン	5位	カルガリー	5位	ジュネーブ	7位	バンクーバー	7位	シドニー	9位	大阪	9位	オークランド	<table border="1" data-bbox="707 518 1240 1268"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>都市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1位</td><td>ロンドン</td></tr> <tr><td>2位</td><td>ニューヨーク</td></tr> <tr><td>3位</td><td>東京</td></tr> <tr><td>4位</td><td>パリ</td></tr> <tr><td>5位</td><td>シンガポール</td></tr> <tr><td>6位</td><td>アムステルダム</td></tr> <tr><td>7位</td><td>ソウル</td></tr> <tr><td>8位</td><td>ドバイ</td></tr> <tr><td>9位</td><td>メルボルン</td></tr> <tr><td>10位</td><td>ベルリン</td></tr> <tr><td>⋮</td><td>⋮</td></tr> <tr><td>37位</td><td>大阪</td></tr> </tbody> </table>	順位	都市	1位	ロンドン	2位	ニューヨーク	3位	東京	4位	パリ	5位	シンガポール	6位	アムステルダム	7位	ソウル	8位	ドバイ	9位	メルボルン	10位	ベルリン	⋮	⋮	37位	大阪	<table border="1" data-bbox="1329 518 1862 1268"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>都市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1位</td><td>オアハカ (メキシコ)</td></tr> <tr><td>2位</td><td>ウダイプール (インド)</td></tr> <tr><td>3位</td><td>京都</td></tr> <tr><td>4位</td><td>ウブド (インドネシア)</td></tr> <tr><td>5位</td><td>サンミゲル・デ・アジェンデ (メキシコ)</td></tr> <tr><td>6位</td><td>メキシコシティ (メキシコ)</td></tr> <tr><td>7位</td><td>東京</td></tr> <tr><td>8位</td><td>イスタンブール (トルコ)</td></tr> <tr><td>9位</td><td>バンコク (タイ)</td></tr> <tr><td>10位</td><td>ムンバイ (インド)</td></tr> <tr><td>⋮</td><td>⋮</td></tr> <tr><td>25位</td><td>大阪</td></tr> </tbody> </table>	順位	都市	1位	オアハカ (メキシコ)	2位	ウダイプール (インド)	3位	京都	4位	ウブド (インドネシア)	5位	サンミゲル・デ・アジェンデ (メキシコ)	6位	メキシコシティ (メキシコ)	7位	東京	8位	イスタンブール (トルコ)	9位	バンコク (タイ)	10位	ムンバイ (インド)	⋮	⋮	25位	大阪
順位	都市																																																																											
1位	ウィーン																																																																											
2位	コペンハーゲン																																																																											
3位	チューリッヒ																																																																											
4位	メルボルン																																																																											
5位	カルガリー																																																																											
5位	ジュネーブ																																																																											
7位	バンクーバー																																																																											
7位	シドニー																																																																											
9位	大阪																																																																											
9位	オークランド																																																																											
順位	都市																																																																											
1位	ロンドン																																																																											
2位	ニューヨーク																																																																											
3位	東京																																																																											
4位	パリ																																																																											
5位	シンガポール																																																																											
6位	アムステルダム																																																																											
7位	ソウル																																																																											
8位	ドバイ																																																																											
9位	メルボルン																																																																											
10位	ベルリン																																																																											
⋮	⋮																																																																											
37位	大阪																																																																											
順位	都市																																																																											
1位	オアハカ (メキシコ)																																																																											
2位	ウダイプール (インド)																																																																											
3位	京都																																																																											
4位	ウブド (インドネシア)																																																																											
5位	サンミゲル・デ・アジェンデ (メキシコ)																																																																											
6位	メキシコシティ (メキシコ)																																																																											
7位	東京																																																																											
8位	イスタンブール (トルコ)																																																																											
9位	バンコク (タイ)																																																																											
10位	ムンバイ (インド)																																																																											
⋮	⋮																																																																											
25位	大阪																																																																											

【アジアNo.1の国際観光文化都市】へのロードマップ^① (想定含む)

区分	2023年	2024年	2025年	2026年以降	2030年以降
フェーズ	<p style="text-align: center;">HOP → STEP! → JUMP!!</p> <p style="text-align: center;"><u>万博での飛躍を狙い、各事業で具体的活動の実行を重ね、成長を加速させる</u></p>				
	<p style="text-align: center;">万博の機運醸成</p> <p>●ラグビーW杯 (フランス)</p>		<p style="text-align: center;">万博での成果を土台に、IR誘致を見据え総仕上げを行う</p> <p>●夏オリパラ(パリ)</p>		<p style="text-align: center;">アジアNo.1の国際観光文化都市の実現へ</p>
大規模イベント等	 未来モノづくり国際EXPO 2023 	IGLTA世界総会 大阪大会 Japan MICE EXPO 2024 RED U-35 大阪プレDC 大阪来てなキャンペーン 第19回食育推進全国大会	 大阪DC 	Velo-city (2029年想定)  (2027年) 大阪アフターDC (2026年) 第35回日本医学会総会(2027年想定)	ISPO (IR開業時想定)
インフラ関係	北大阪急行延伸開通	うめきた2期 まちびらき 中之島未来医療国際拠点オープン 夢洲新駅開業 フォーシーズンズホテル開業	大阪公立大学 森之宮キャンパス開設 淀屋橋地区再開発	富裕層受入環境の整備(想定) 例) ヘリポート・スーパーヨットなど 淀川左岸線2期一般供用開始(2027年)	大阪城東部地区開発(2028年以降) IR施設開業 (2030年秋頃) 新大阪駅再開発(2030年) なにわ筋線 開通(2031年)
来阪外国人 (単位:万人) ※観光局想定	1,300 【参考】 ・観光庁 2023年 986万人 (大阪)	1,400	1,500(万博での飛躍) 【参考】 ・観光庁: 2025年 3,200超え (全国)	→	2,000 【参考】 ・観光庁: 2030年 6,000万人 (全国)

世界に選ばれる新しい観光スタイルの実践

大阪観光の本格始動

- コロナ禍からの反転攻勢

- 海外プロモーションの再開

- 中国市場を除き、市場全体がコロナ前の水準に回復

- 万博に向けた飛躍への挑戦

【量・質ともに上昇】

※観光庁：訪日外国人消費動向調査

訪日外国人1人当たり消費額 2019年 15.9万円 ▶ **2023年21.2万円**

インバウンド来阪者数：2019年実績1,231万人 ▶ **2023年 986万人 (推計)**

※中国を除いた全市場は2019年比126.3%

2023年

2023年	
目標	実績 (推計)
1,300万人	986万人

2024年

- 来阪外国人客数をコロナ前の水準以上に戻す

- インバウンド来阪者数 目標1,400万人

- 大阪の観光客増加に伴う社会問題への対応

- 人手不足への対応 (DX推進 (AI及びロボット活用等)、留学生の活用、ライドシェアなど)

2024年目標

1,400万人

2025年

- 大阪・関西万博

- インバウンド来阪者数 目標1,500万人

訪日外国人旅行者数 3,200万人 (2019年水準) 超え

(観光庁「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」)

2025年目標

1,500万人

2026年
以降

《インバウンド動向を踏まえた大阪観光局の今後の動き》

- 大阪・関西万博後における継続的な観光需要の創出

- IR開業 (2030年秋頃想定)

2030年目標

2,000万人

HOP

STEP

JUMP

大阪観光局が取り組む主な事業

2024年は、万博での大きなステップアップに向けあらゆる取組みの成果にコミットする1年に

大阪観光局キャッチコピー「Downtown of Japan」

2024年のテーマ「Discover Osaka Japan」

多様な人材

スタートアップの育成

投資を呼び込む

新たな魅力の発見



SDGsの達成に向けた各取組み

「量から質へ」「安全・安心」「ストレスフリー」「シームレス」「快適な旅行環境整備」「災害・緊急時対応」「人手不足対応」

受入環境整備
規制緩和

ラグジュアリー
ホテル誘致支援

ラグジュアリー対策

コンシェルジュ育成

富裕層向けサービスの提供

★ = 重点的に取り組む事業

大阪のSDGs

- ★ エイバー・ツーリズム
- ★ スポーツ・ツーリズム
- ★ ペット・ツーリズム
- ★ 留学生支援教育交流
- ★ 食のSDGs
- ★ 緑化・環境への取組み
- ★ LGBTQ+・ツーリズム

日本の観光ショーケース

- ★ 文化芸術観光
- ★ 食・ブランディング
- ★ 24時間観光(ナイトタイムエコノミーの推進)
- ★ 重要コンテンツ
- ★ 伝統行事・祭り
- ★ テーマコンテンツ開発
- ★ 水都事業の推進
- ★ スポーツ・ツーリズム(プロスポーツ連携)
- ★ 広域連携(周遊)・府域周遊・大阪市内の取組み
- ★ 広域連携(周遊)
- ★ 府域周遊の促進
- ★ 市内エリアゾーニング

観光DX・マーケティングリサーチ

- ★ 観光データベース(DMP)構築
- ★ 関空調査
- ★ MaaSの推進
- ★ 観光アプリ
- ★ OSAKA-INFO SNS運用

国内プロモーション

- ★ 旅行博・商談会
- ★ 大阪プレDC

インバウンド誘致

- ★ リアルプロモーション
- ★ アウトバウンド促進
- ★ 受入環境整備
- ★ フードダイバーシティ
- ★ 災害への対応
- ★ 急患

大阪の観光客増加に伴う社会問題への対応

- ★ 混雑回避
- ★ 旅のマナー啓発等
- ★ 分散

MICE

- ★ 誘致・創出
- ★ SDGs for MICE
- ★ スポーツMICE

観光インフラ

- ★ Osaka Free Wi-Fi
- ★ 案内所の運営管理
- ★ コールセンターチャットボットの運営

自主財源

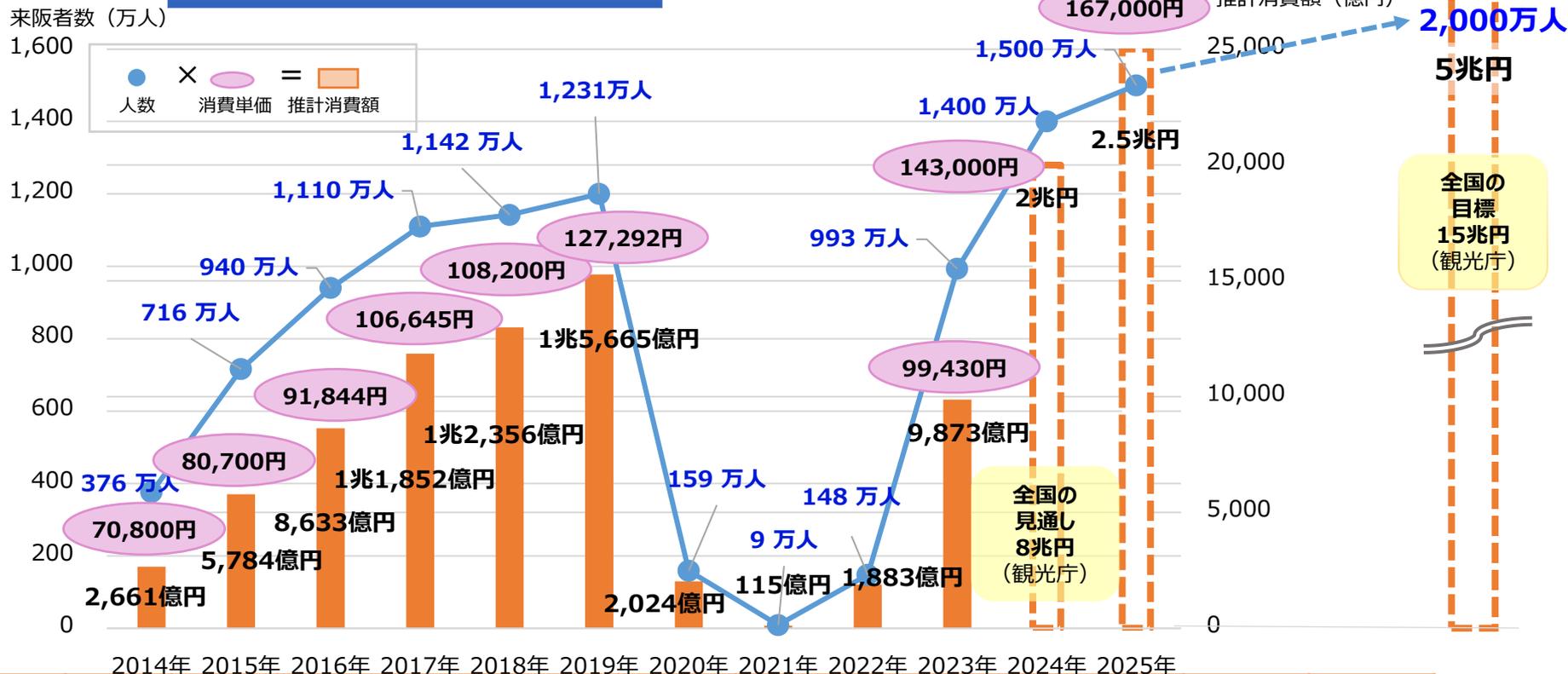
- ★ 大阪楽遊パス(Eチケット)
- ★ ライセンス・広告
- ★ 賛助会員
- ★ オフィシャルパートナー

観光関連事業者支援

- ★ 飲食事業者応援事業

来阪インバウンドによる観光消費額推計概算（2014年～2023年推計）

大阪におけるインバウンド消費額



250,000円

2,000万人

5兆円

全国の目標
15兆円 (観光庁)

全国の見通し
8兆円 (観光庁)

※括弧内は観光庁発表のクルーズ客を除いた数値を用いた場合
【出展】観光庁「訪日外国人消費動向調査」

観光DXの推進及びマーケティング活動の更なる強化

観光客の利便性向上とデータに基づく観光施策の展開による誘客及び府域周遊促進
 ⇒ **大阪全域でのストレスフリー、シームレスかつ快適な観光体験を提供**

データに基づく観光戦略策定

客観的データに基づく観光戦略の策定を通じたPDCAサイクルの確立

府域のマーケティング支援

マーケティングリサーチの実施

取得データの活用と還元

効果的な情報発信

民間各社のデータ

大阪観光データ

オープンデータ



データマネジメントプラットフォーム

施策に活かせるマーケティングデータ

- ・ターゲットの興味関心
- ・プロモーション効果
- ・観光消費額や訪問者数 等

府内市町村との連携事業

データに基づいた市町村のマーケティング、観光戦略の策定支援及びPDCAサイクルの確立

2023年度
連携:6市



2024年度
(予定)
連携:6市町



観光アプリ

3.2万DL
(1月10日時点)

インバウンド観光客のお困りごとのうち、決済手段や公共交通の利用に関する課題の解決

充実させたアプリ機能を活用したDL促進及びストレスフリーな観光体験の提供

2024年度



顔認証システムの構築 決済基盤の構築

キャッシュレス

観光DXに必要な認証基盤とキャッシュレスは次世代観光にかかせない



VISA × 大阪楽遊パス

世界VISAユーザーに向けて大阪観光パスを告知
 (特典として10%OFF提供 <Web決済>)



☆メタバースも視野

量から質への転換 「高付加価値な観光施策の推進」 ①

ラグジュアリー層の受入れ促進による観光消費の増加

⇒ **量より質を重視した取組みにより着地後消費を最大化**

主な高付加価値観光の取組み



ナイトタイムエコミーの創出



高付加価値コンテンツ整備等



メディカル&ヘルスツーリズム

■ VISA冊子の制作・配付

府下ホテル6万室以上に8万2千部配布



■ 大阪楽遊ナイトパスの造成・販売

府内の人気施設を新たにに加え、ナイト施設の入場無料券+タクシー500円無料券がセット



■ 中之島美術館プライベートナイトミュージアム

学芸員による解説等が付いた夜間貸し切りプランを期間限定で販売（英語・中国語対応）
※2024.2.10～3.24までの指定された5日間のみ



■ ナイトコンテンツ造成（MUIC関西）

住之江競艇場を活用し、インバウンド向け高付加価値コンテンツの検討・造成

■ スーパーヨットの誘致

■ 大阪湾～瀬戸内周航ルート開発

瀬戸内の舟運事業者と連携したプレミアムな旅客船による周遊プランの開発

■ ヘリコプター付観光送迎プラン販売に向けた実証実験の実施

大阪市内（舞洲）～和歌山マリナシティ間のデモ飛行による実証実験

■ 富裕層受入全般に対応するプラットフォーム検討

■ 高付加価値な食体験コンテンツ造成

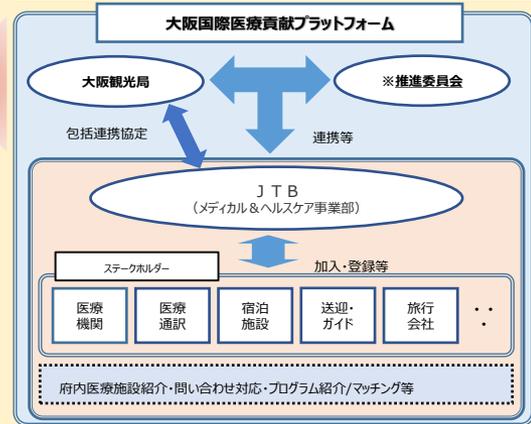
「あじわい大阪」での高付加価値食コンテンツ造成・販売



受診者及びその家族等による高付加価値コンテンツの利用

■ 大阪国際医療貢献プラットフォームの確立

- ・2024.2 予約・手配業務開始
- ・2024.3 高度医療Webサイト開設



高付加価値MICE



■ モータースポーツ、食、産業系、金融系の高付加価値MICE案件の誘致
高い経済効果又は大阪のプレゼンス向上に繋がるMICE主催者への誘致活動

■ ラグジュアリー向けトラベル商談会の大阪開催に向けた取組み
府内の魅力コンテンツ・観光サービスの高付加価値化促進による都市魅力の向上に繋がる商談会の誘致活動

量から質への転換 「高付加価値な観光施策の推進」 ②

関係者と連携したラグジュアリー層の受入環境や情報発信の充実

⇒ **ラグジュアリー層の受入環境及びホスピタリティの充実により大阪を目的地に！**

ラグジュアリー対策の構成要素

受入環境整備・規制緩和



チャーター機入国時の規制緩和に向けた取組協力



スーパーヨット受入港湾整備計画への関与

ラグジュアリーホテル誘致支援



○今後開業予定のラグジュアリーホテル

- ・フォーシーズンズホテル大阪（堂島） 2024年
- ・ウォルドーフ・アストリア大阪（梅田） 2025年
- ・パティナーナ大阪（大阪城） 2025年 等

コンシェルジュ育成



富裕層ニーズへの細やかな対応
が可能な事業者の発掘・育成

富裕層向け情報発信



クローズドマーケットへのPR

「大阪 = 日本の観光ショーケース」に向けた高付加価値コンテンツの充実 広域連携の取組み

▶ 国際観光都市大阪 日本・アジアのゲートウェイとして大阪が「日本のショーケース」となる！

テーマ	温泉・健康・美・長寿	食	スポーツ・アドベンチャー	美術館・博物館	文化・祭り	城郭・天守閣
詳細	健康・高原の空気 温泉・ヨガ・森林セラピーなど	食文化・各地の食材・食技術など	サイクリング・トレッキング・ハイキング スキー・ラフティング・グランピング フィッシング・キャンプなど	絵画・陶磁器・現代アート 漆器など	忍者、サムライ所縁の地・体験 各地の祭り アニメ・ポップカルチャー	世界遺産、文化財、甲冑 城下町、山城
ONE 関西	大阪府：高級エステ、SPA 和歌山県：熊野古道 奈良県：吉野エリア 京丹後市：ヘルスツーリズム	主に大阪府域各箇所との連携 堺：刃物伝統工芸、お茶文化 泉州：伝統野菜、果物、ブランド牛などのブランド食材 北摂：ブランド牛、シビエ料理など 大阪市内 多様な料理を楽しむ	和歌山県：熊野古道 大阪府：サイクリング 滋賀県：サイクリング 兵庫県：サイクリング	大阪府：現代アート、東洋陶磁 関西各地の美術、博物館	忍者：伊賀、甲賀、名張 京都府：祇園祭など 大阪府：天神祭りなど 奈良県：東大寺二月堂修二会など	大阪府：大阪城、岸和田城 和歌山県：和歌山城 兵庫県：姫路城（世界遺産） 竹田城 滋賀県：彦根城（国宝）
北海道ルート	登別温泉・層雲峡温泉など	北前船 昆布：北前船の回遊 ルートで関西の食文化と強い結び 付き	各スキー場・釧路湿原 道内サイクリング	北海道近代美術館 北海道博物館	さっぽろ雪まつり	五稜郭・松前城
東北ルート	秋田県：乳頭温泉 山形県：銀山温泉 岩手県：花巻温泉郷など	新潟県：燕三条 雪国で育まれた個性豊かな鍋料 理	各スキー場 白神山地トレッキング	青森県：県立美術館	青森ねぶた祭り 仙台七夕まつり 秋田竿燈まつり 宮城県：石ノ森章太郎ふるさと記念館	青森県：弘前城（重文） 福島県：鶴ヶ城
北陸・中越 ルート	加賀市：加賀温泉郷 長野県（山之内・飯山など）	北前船 昆布 各地の食材 北前船の回遊ルートで関西の食文 化と強い結び付き	石川県・長野県：ハイキング 長野県：サイクリング・スキー	石川県：近代美術、九谷焼 長野県：現代美術、北斎館	忍者：戸隠、上田	長野県：松本城（国宝） 福井県：丸岡城（重文） 越前大野城
東海ルート	静岡県：熱海温泉 神奈川県：箱根温泉 岐阜県：奥飛騨温泉郷	東海地方特有の豆みそ文化	静岡県：サイクリング （伊豆半島）	東京各地の美術、博物館	忍者：風魔（小田原） 岐阜県：高山祭 東京都：サンリオピューロランド 愛知県：ジブリパーク	岐阜県：犬山城（国宝） 愛知県：名古屋城 静岡県：浜松城、掛川城
瀬戸内ルート	愛媛県：道後温泉	大阪～泉州～和歌山～淡路島 鮮魚、野菜などの食材宝庫や 食材（鮮魚）を状態良く保存す る食技術（活締めなど）	愛媛県：サイクリング （しまなみ海道） 高知県：アドベンチャーツーリズム	瀬戸内国際芸術祭	村上水軍 島根県：岩見神楽 お遍路 島根県：青山剛昌ふるさと館・水木しげるロード	岡山県：備中松山城（重文） 島根県：松江城（国宝） 愛媛県：松山城（重文） 香川県：丸亀城（重文）
九州ルート	大分県：別府、湯布院 黒川温泉 鹿児島：指宿温泉	鹿児島 枕崎 かつおぶし、だし文化 各地の有名な食材 北前船の回遊ルート	宮崎県：ゴルフ 大分県：サイクリング	福岡県：九州国立博物館 大分県：OPAM美術館	古事記・日本書紀エリア	



温泉ツーリズム推進協議会

熱海や別府...温泉地への誘客沸かす 大阪観光局が協議会

2024/4/10 18:20 | 日本経済新聞 電子版



世界一の源泉数、世界に誇れる温泉文化・歴史・食、健康・美・長寿への効能を世界に発信

活動コンセプト

「世界と地域」をつなぎ、「だれもが楽しく」参加できる

- 【1】**地域密着型**WEBサイト・SNSでの温泉地紹介
 - 日本の観光ショーケース「温泉」（仮称）WEBサイトオープン
 - ・参加自治体の温泉を定期的特集（首長、地域の皆様も出演）
 - ・将来的に、「特別な体験」のツーリズム予約を可能に
 - ・“Hidden”コーナー：一押し秘湯など知られざる魅力を紹介
 - ・SNSを立ち上げ、「一押し温泉」投稿キャンペーン実施（優秀作品の表彰や温泉アンバサダー認定も検討）

【2】温泉シンポジウム 年2回開催

＜各温泉地から、温泉の魅力の世界に発信＞

松山市（2024年7月18日開催予定）

加賀市（2025年1月予定）

【3】大阪・関西万博での催事（案）

（「温泉」は2025大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」にも合致）

- ・世界の温泉地を持つ海外パビリオンとの交流と魅力相互発信
- ・足湯体験などのイベント実施
- ・肌チェックであなたに最適な温泉地紹介



なぜ多くの人が、日本観光の虜になるのか？

（大阪観光局 日本の観光ショーケースWEBサイト）

協議会発足記者会見 (2024年8月9日 都道府県会館)



スローガン「健康・美・長寿の**聖地** 日本」

～心身ともに より健康で美しく。そして、長寿に、幸福寿命を延ばそう！～

- 【1.健康・美・長寿を日本のブランドにする】(自治体・国の目線)
- 【2.地方を豊かに、誇りあるものにする】(市民の目線)
- 【3.健康・美・長寿の意識を高め、地方の重要性を発信する】(旅行者の目線)

<活動内容>

- 【1】**地域密着型WEBサイト・SNSでの健康・美・長寿地を紹介**
日本の観光ショーケース「健康・美・長寿」(仮称) WEBサイトオープン (10月予定)
 - ・ターゲットはインバウンド、若い世代
 - ・参加自治体の特色を定期的に特集 (首長、地域の皆様も出演)
 - ・動画作成 (バックストーリー、ライフスタイルを追う)
 - ・将来的に「特別な体験」のツーリズム予約を可能にし、聖地ツアーを企画 (地方の魅力を掘り起こし)
- 【2】**世界の健康・美・長寿国との連携**
大阪観光局の海外プロモーションにおけるインバウンド向けセールス (参加自治体のPR活動も行う)
- 【3】**シンポジウム 年1回開催 (2025年以降)**
<健康・美・長寿の先進地から、世界に向けた情報発信>
京丹後市 (2025年6月中旬開催予定)
- 【4】**大阪・関西万博での催事 (2025年以降)**
 - ・ステージイベント: (首長によるセレモニー、各地の健康長寿者によるトークショーほか)
 - ・ブース出展: (各地の健康・美・長寿文化の発信)
 - ・健康・美・長寿地を持つ海外パビリオンとの交流

大阪・関西万博、IR開業に向けたSDGsの機運醸成及び取組みの推進

大阪・関西万博以降も、持続可能な観光を推進し都市魅力の向上を図るため、大阪の未来に繋がる観光事業を推進 ⇒ **万博に向けSDGsの達成のための取組みを積極的に推進**

多様性の尊重



ペットツーリズム



留学生支援



ユニバーサルツーリズム

ダイバーシティ推進!



LGBTQツーリズム

ゼロ・カーボン社会の実現



みどりのプロジェクト



グリーンツーリズム



サイクリングツーリズム

持続可能な観光実現!

万博の機運醸成・プロモーション



フォーラム開催



海外でのPRイベント



大阪観光大使等の活用



世界から大阪へ!

観光客の増加に伴う社会問題対策

周遊促進!



府域周遊の促進



広域周遊の促進



分散を促す情報発信



持続的な観光需要の創出!

レガシー活用

アフター万博を見据えた
観光コンテンツの造成



▶ **万博**を契機に注目を浴びる大阪において、**オール大阪・関西**で**SDGs**な取組みを推進!

大阪・関西万博、IR開業に向けたSDGsの機運醸成及び取組みの推進

多様性の尊重

さまざまな立場、状況、考えに対し寛容かつ充実した取組みを推進

ユニバーサルツーリズム

日本人口の約41.6%
(5,220万人)

誰もが安心して楽しむことができる都市・大阪の実現

万博に向けた取組み



- 万博に“簡単に行けない方”の参加を実現するプロジェクトとの連携
- 新規モデルコース2本造成、情報発信
- 心のバリアフリー施設認定新規9件



機運醸成



- ユニバーサルツーリズム推進協議会の運営
- 車いす体験ワークショップの開催

【モデルコース造成数】
2022年3本
2023年2本
2024年3本
2025年 計10本

課題

- 造成コースの検証⇒改善⇒利用促進

LGBTQツーリズム

人口の約10%
世界の観光消費額の16%

IGLTA世界総会や大阪・関西万博を契機とした多様性あふれるまちの実現

「大阪 = LGBTQツーリズムの目的地」としての認知度を高めるための取組み
IGLTA世界総会誘致
(2024.10開催予定)

LGBTQ受入機運醸成



IGLTA世界総会
アエルトロ大会



IGLTA世界総会大阪開催

「IGLTA世界総会2024」推進協議会の設立(2023年4月14日)
(協議会委員)
大阪府・大阪市・堺市、(公社) 関経連、(公社) 北海道観光振興機構、(公財) 東京観光財団、(公財) 福岡観光CB、(一財) 沖縄観光CB、(株) アウト・ジャパン、(株) JTB、(公財) 大阪観光局

9団体2民間事業者



FAMトリップ

ペットツーリズム

市場規模16,242億円
犬猫飼育延べ1,230万世帯

「人とペットが共に生きる街・大阪」を目指す!

万博に向けた大阪におけるペット受入環境整備

万博のペット同伴実現

万博に向けた調整実施



WEBサイト

ペット受入機運醸成

ペット博覧会展出

- 2022年・・・天王寺周辺、中之島・心齋橋、箕面の3コース造成
- 2023年・・・泉南地域1コース造成

課題

造成コースの検証⇒改善⇒利用促進

モデルコースの情報発信

モデルコース1件造成

留学生

経済波及効果
約893億円

「学んでよし」・「住んでよし」・「働いてよし」のアジアNo.1の留学生都市の実現

留学生満足度向上・留学生数増加・就業率の向上
留学生数：2022年3.5万人 ⇒ 2030年5万人に

誘致

海外からでも家探し可



OSAKA
ポータルサイト

支援

3年目の外国人留学生EXPO



外国人留学生EXPO

活用

年間50回以上のイベント



万博での留学生ボランティア
に向けた検討

就労

就職イベントの紹介



外国人留学生支援
就職イベントの紹介

安全・安心、清潔で快適な旅行環境の整備

混雑回避を目的とした受入環境整備推進

混雑しているエリア等の受入環境整備による分散を促進

①混雑情報の可視化

AIお紹介

大阪の観光施設をLIVE配信

定点カメラによるリアルタイムの混雑状況チェック

観光案内所

Discover OSAKA JAPAN アプリ

実施時期(予定)	2025年1月～
実施主体(費用負担)	CARAC, LLC (※一部観光局負担)

②手ぶら観光の推進

民間事業者・海外OTAと連携し、ホテルのリモートチェックインと手荷物当日配送サービスの手続きが同時できるサービスを開始

実施時期	2024年秋
実施主体(費用負担)	大阪観光局 日本電気(株)、松和運輸(株)

旅のマナー啓発・トイレマップ等

観光客・住民・観光事業者にとって快適な環境の整備

情報発信等によるマナー啓発、住民・観光客等の快適性向上

- ③トイレ位置情報発信
- ④旅のマナー啓発
- ⑤ごみ問題
- ⑥大型荷物問題

<p>TOILET</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期(予定)</td> <td>2024年度内</td> </tr> <tr> <td>実施主体(費用負担)</td> <td>(公財)大阪観光局・大阪市</td> </tr> </table>	実施時期(予定)	2024年度内	実施主体(費用負担)	(公財)大阪観光局・大阪市	<p>MAP</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期(予定)</td> <td>2024年度内</td> </tr> <tr> <td>実施主体(費用負担)</td> <td>(公財)大阪観光局</td> </tr> </table>	実施時期(予定)	2024年度内	実施主体(費用負担)	(公財)大阪観光局	<p>スマートゴミ箱</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期(予定)</td> <td>2023年11月～</td> </tr> <tr> <td>実施主体(費用負担)</td> <td>道頓堀商店会、(株)JTB等</td> </tr> </table>	実施時期(予定)	2023年11月～	実施主体(費用負担)	道頓堀商店会、(株)JTB等	<p>スマートロッカー</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期(予定)</td> <td>2024年3月～</td> </tr> <tr> <td>実施主体(費用負担)</td> <td>西日本旅客鉄道(株)</td> </tr> </table>	実施時期(予定)	2024年3月～	実施主体(費用負担)	西日本旅客鉄道(株)
実施時期(予定)	2024年度内																		
実施主体(費用負担)	(公財)大阪観光局・大阪市																		
実施時期(予定)	2024年度内																		
実施主体(費用負担)	(公財)大阪観光局																		
実施時期(予定)	2023年11月～																		
実施主体(費用負担)	道頓堀商店会、(株)JTB等																		
実施時期(予定)	2024年3月～																		
実施主体(費用負担)	西日本旅客鉄道(株)																		
治安		美観・騒音																	

ナイトコンテンツの造成

夜間コンテンツの造成を通して時間軸での分散を促進

ナイトタイムエコノミーの創出に向けた各種取組み

⑦美術館の夜間開館

中之島美術館
プライベートナイトミュージアム

⑧ナイトコンテンツ造成

大阪楽遊バス
プレミアム

⑨ナイトコンテンツ情報発信

府下ホテル6万室以上に観光冊子を配布

夜に楽しめる飲食店等の店舗情報を発信

大阪市内・府域の魅力コンテンツ造成・販売

大阪市内及び府域周遊の促進による場所の分散を促進

各エリアの特性に応じた魅力コンテンツの磨き上げ

Discover OSAKA JAPAN

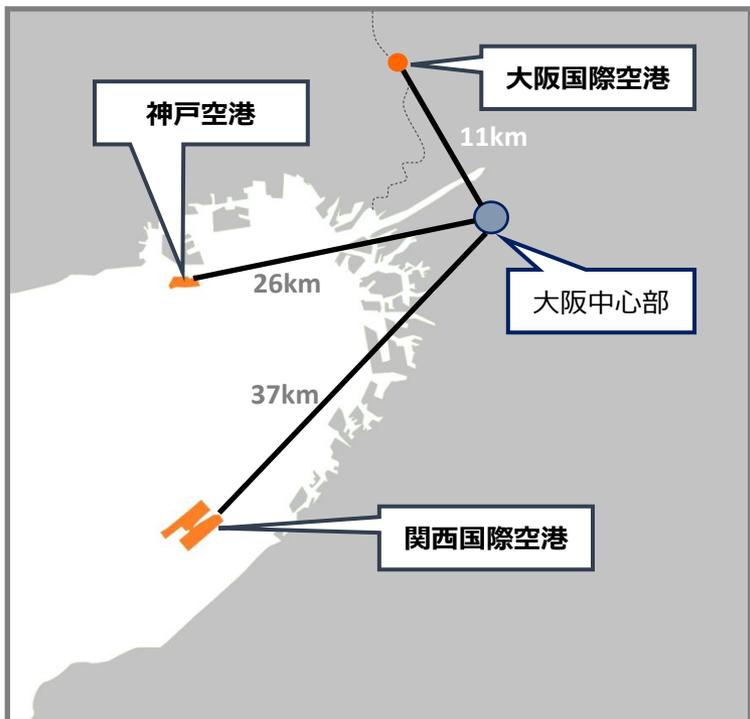
市内周遊

- 新今宮・新世界エリア
- 船場エリア
- 鶴橋コリアタウンエリア
- ベイエリア

府域周遊

マーケティング → コンテンツ造成 → プロモーション

3空港の概要



アジアの主要空港の容量拡大

●インチョン空港 (韓国)

- ・2024年第4滑走路と第2旅客ターミナルビル拡張が完了
- ・受入キャパシティは、**約10,600万人**

●チャンギ空港 (シンガポール)

- ・2030年中旬 第5旅客ターミナルビル完成予定
- ・受入キャパシティは、**約13,500万人**

■2019年 航空旅客数 (アジア地域)

	関西国際空港	大阪国際(伊丹)空港	神戸空港
設置・管理者 運営権者	新関西国際空港(株) 関西エアポート(株)	新関西国際空港(株) 関西エアポート(株)	関西エアポート神戸(株)
開港日	1994年9月4日	1958年3月18日※ ※「大阪空港」として開港	2006年2月16日
滑走路	3,500m×1本 4,000m×1本	1,828m×1本 3,000m×1本	2,500m×1本
2019年 総旅客数	3,191万人 国際 2,493万人 国内 698万人	1,650万人	336万人
運用時間	24時間	7:00~21:00	7:00~23:00
年間発着枠	23万回	13.5万回 (370回/日)	2.9万回(80回/日)
役割分担 の考え方 (2005.11 関西3空港懇談会にて航空局より説明し了解)	・西日本を中心とする国際拠点空港 ・関西圏の国内線基幹空港 ・国際線は関西国際空港に限定	・関西圏の国内線の基幹空港 ・環境と調和した都市型空港	・神戸市及びその周辺の国内航空需要に対応する空港
今後の方向性 (2024.7.15 第14回関西3空港懇談会にて取りまとめ)	・2030年代前半を目途に、年間発着回数30万回の実現を目指す ・1時間あたりの航空機処理能力を、2025年までに概ね60回への引き上げを目指す ・淡路島上空新ルート (2025年3月から)	—	・新たな国内線ターミナル運用開始時を目途に、国内線は最大発着回数を120回/日に拡大する ・2030年前後を目途に、最大40回/日の国際定期便の運用を目指す ・国際チャーター便は2025年万博時から運用可能に ・淡路島上空新ルート (2025年3月から)

世界順位	2位	5位	8位	11位	13位	14位	17位	18位	19位	21位	24位	25位	26位	50位	69位	—	—
空港名 (都市名)	北京	羽田	上海	広州	香港	仁川	デリー	シンガポール	バンコク	クランプール	成都	ジャカルタ	深圳	成田	関西	伊丹	神戸
利用者数	10,001	8,551	7,615	7,339	7,142	7,120	6,849	6,828	6,542	6,234	5,586	5,450	5,293	4,429	3,191	1,650	336

羽田・成田 計 12,980万人

関西・伊丹・神戸 計 5,177万人

※単位：万人 「ACI Annual World Airport Traffic Report」(国際空港評議会) 資料より 16

鉄道延伸

大阪での大型開発プロジェクトに付随し、関西国際空港や大阪空港などの接続も含めたアクセス改善に向け、鉄道延伸が複数検討されており、中長期的に多額のインフラ投資が見込まれます。

■ 路線図 (想定含む)



--- 新線予定区間

* 地下鉄路線は一部を除き省略

■ 鉄道延伸の動向 (構想段階のもの、想定含む)

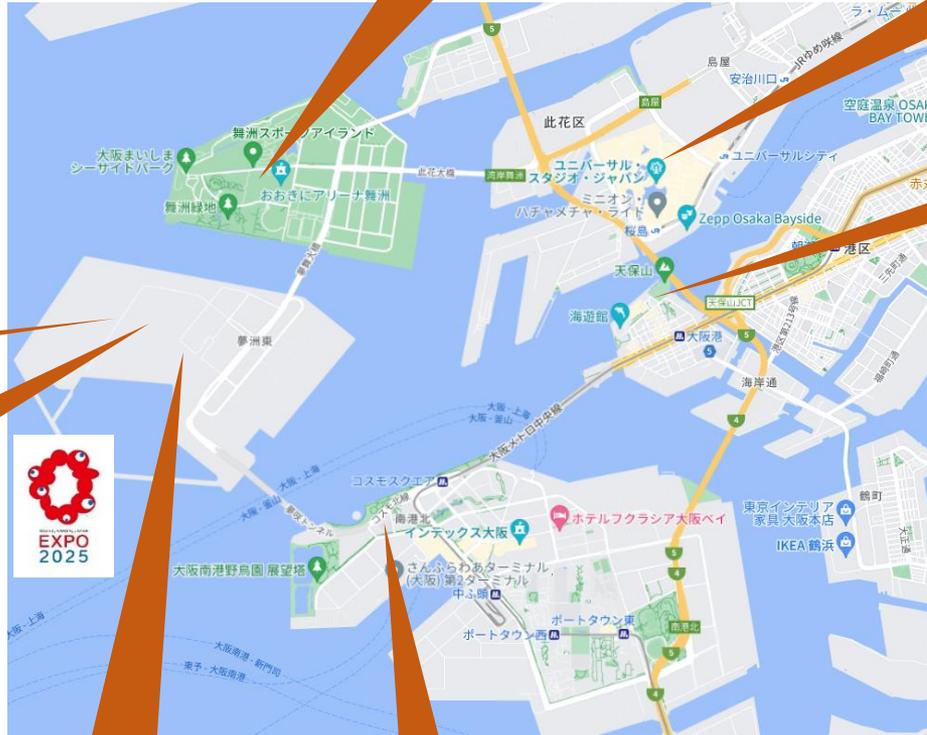
時期	路線・区間
2023年3月	JR大阪駅 うめきた地下ホーム開業
2024年3月	北大阪急行 千里中央-箕面萱野間開業
2024年度中	大阪メトロ中央線(北港テクノポート線)延伸、(仮)夢洲駅開業
2028年	大阪メトロ中央線支線開業、 (仮)森之宮新駅開業
2029年	大阪モノレール 門真市-(仮)瓜生堂間開業
2031年春	なにわ筋線 (関空アクセス鉄道) 開業
2031年	阪急新大阪・なにわ筋連絡線開業
2036~2046年	北陸新幹線 新大阪-敦賀間開業予定
2037~2045年	リニア中央新幹線 名古屋-新大阪間開業予定

大阪ベイエリア（咲洲・築港・舞洲・夢洲）の活性化

神戸空港国際化
2030年前後(予想)



スポーツ・レクリエーションの需要に
対応したまちづくり



ユニバーサル・スタジオ・ジャ
パン「スーパー・
ニンテンドー・ワールド」エリア
拡張 (2024年後半)

天保山客船ターミナル
(2024年5月)



出典：天保山ターミナルサービス株式会社

大阪IR
(2030年以降)



提供：大阪IR株式会社/転載禁止

大阪・関西万博
(2025年)



出典：2025年日本国際博覧会協会



Premium Jewelry Dome
Osaka (2025年)



出典：シンフォニックスリール株式会社

スーパーヨット誘致



夢洲第2期 開発
(万博跡地)



出典：大阪府ホームページ